

7月14日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

経済指標よりも米株上昇に反応

13日(火)の主な推移



期間：13日(火)午前6時～14日(水)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 前日の米株上昇や米アルコールの第2四半期決算が好感され、日経平均株価が高く始まったことに伴い、ユーロ/円は112.05円、豪ドル/円は77.98円をつけた。だがその後同株価や上海株式市場の下落により、市場ではリスクに対して消極的な動きとなり、クロス円は軟調に推移した。
- ② 格付け会社ムーディーズがポルトガルの格付けを「Aa2」から「A1」へと2段階の格下げを行い、ユーロ/ドルは1.2521ドルまで下落。その後ユーロ/円は110.68円、豪ドル/円は76.80円まで、それぞれ値を下げた。だがその後は独7月ZEW景況感調査が21.2と市場予想(25.3)を下回るも、市場の反応は限定的であった。またギリシャの短期国債入札が無難な結果となりユーロは反発に転じた。
- ③ 米ダウ平均株価が上昇したことにより、市場ではリスクを取ることに積極的となる動きへとつながり、25時過ぎにユーロ/ドルは1.2738ドルまで上昇するなど、ユーロや豪ドルは反発した。また米ダウ平均株価の引け後に発表された米インテルの好決算が発表されると、リスクを積極的に取る動きが強まり、ユーロ/円は112.78円、豪ドル/円は78.37円まで、それぞれ13日の高値を記録した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2660-1.2850ドル
ユーロ/円 : 112.10-113.80円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.60-79.60円

昨日ポルトガルが格下げとなったものの、一部ではすでに予想されていたことから、むしろ見通しが安定的となったことで、ユーロの下げは限定的となった。またその後独7月ZEW景況感調査の悪化が伝えられるも相場への影響は限定的であったことから、市場はユーロ売りに飽きている可能性があり、悪材料よりも好材料へと目が向きやすくなっているようだ。

また昨日は米株の上昇により、市場ではリスクに対し積極的となる場面ではユーロの上昇が目立っており、米株の動向がユーロ相場を左右しそうである。(川畑)

豪ドル/円はここ2、3日続いた77円台でのレンジ相場をしっかりと上抜けたことにより、目先は上値を追うムードが高まる可能性があり注目したい。

昨日は米株の上昇を受け、市場ではリスクを積極的に取る動きへとつながり、豪ドル/円も買われている状況である。本日の豪ドル/円も主要国の株価動向に左右されやすい展開が予想される。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/14(水)	17:30		(英) 6月失業率	4.6%	4.5%
	18:00	○	(ユーロ圏) 5月鉱工業生産・季調済 [前月比]	+0.8%	+1.2%
	18:00		(ユーロ圏) 6月消費者物価指数・確報 [前年比]	+1.4%	+1.4%
	21:30	○	(米) 6月小売売上高 [前月比]	-1.2%	-0.3%
	21:30	○	(米) 6月小売売上高 [前月比:除自動車]	-1.1%	-0.1%
	27:00	○	(米) FOMC 議事録(6月22、23日)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。